



## 会津の一本桜 (石部桜)

「大河ドラマ『八重の桜』」のオープニングにも出てきた桜。会津を代表する桜の一つです。この石部桜は、樹齢約 650 年といわれるエドヒガンで、10 本の幹からなり、枝張は最も広いところで約 20m もあり、のびのびと枝を広げるその雄大な姿に魅了されます。

## 福島で輝く!!

馬場 よし子 (ばば よしこ) さん

産業カウンセラー資格取得年：2015 年

ウィズコロナで二度目の春、皆さまいかがお過ごしでしょうか。日常が変化しても、変わることなく春がきて、花が咲き誇る姿には元気をもらえますね。

私が産業カウンセラー協会の皆さまとの繋がりができたのは、2014 年 4 月に郡山で養成講座を受講したときからです。受講時は自分を受け入れてもらえる場があることが嬉しくて充実した時間を過ごしました。講座修了後も皆さまと繋がってみたいと思っていたときに学習グループを作る動きがあり、県の役員の方々からお力添えを頂きながら、メンバーの力を合わせ会津でも立ち上げることができました。会の名前を話し合っ「赤べこ IC 会」と決めたのですが、今年が丑年で、赤べこ伝説の疫病退散などもあってか「赤べこ」が人気者になっており、嬉しく思います。「赤べこ IC 会」が発足したことで会員の繋がりが形になり、そして 3 年度目には新体制に繋げることができたことに、感謝と喜びの気持ちでいっぱいになりました。5 年度目の今、コロナ禍で計画していた活動が思うようにできなくなっていますが、コロナ禍で加速したりリモート会議などは、面積が広い会津地方にとっては今後の発展のための一つのチャンスかもしれません。私にとっては会で繋がっていることが自己研鑽の拠り所となっています。アフターコロナが明るいだけの時代ではないとしても、繋がっていればきっと大丈夫！と思います。どうぞこれからもよろしくお願い致します。



## 養成講座の思い出

近藤 研輔

(こんどう けんすけ) さん 産業カウンセラー資格取得年：2020 年

講座での演習で講師の高橋さんが「このクライアントは”新しい自分として生き始めて”まだ 3 年、いわば 3 歳。どれだけ今、不安なことが。」と、共感の在り方を示して下さいました。クライアントを務めた私はその瞬間、自身では気付けなかった、心の隅の方で心細そうに震えている小さな自分を、真正面から見た気がしました。すぐにその自分に駆け寄り、寄り添い、労い、感謝し、応援しつつも心配し、無理をせず一歩一歩ゆっくりで良いよ、と震えている自分に声を掛ける事が出来ました。不安な自分を「3 歳」という言葉をもって救い出して頂き、それによって漠然としたものを自分自身がしっかりと受け容れ、安心できた瞬間は今でも忘れられず、胸が熱くなります。



もしこの未曾有の中「大丈夫、弱音を吐いている暇はない」と自分に接している方がいらっしゃるのなら、どうか、ほんのひと時でも自分の頑張りを認め、労ってあげて頂きたいと、切に願います。

## くきずな

松浦 芳樹 (まつうら よしき) さん

養成講座・前)郡山教室長

福島県会員の皆さん仙台市在住の松浦芳樹と申します。最初に2月13日福島県沖地震の被災に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災から10年目の今年に起きたことに、「何か意味」があるのかを考えさせられました。私自身震災の記憶も少し薄れかけてきたようにも思え、災害に対しての意識も低くなりかけていたことの警鐘と捉えました。これでもかと災いが続く現実に向き合っていくことが問われていると思います。カウンセリングと同様「目の前にある現実」をしっかりと受け止めることが大切だと思いました。

私と郡山教室の関わりは平成25年から平成31年の7年間です。当初仙台で講座に関わっていた頃、養成講座部から次年度は郡山教室との要請がありました。ファシリテーション力も低く、自分がやれるか不安を感じていたと思います。一歩踏み出せたのは、当時の佐々木教室長の存在です。以前に仙台で佐々木教室長の下で指導を受けた経験があったため、郡山でやっていく覚悟ができたと思います。7年間大過無くやってこられたのは、養成講座に真摯に取り組む受講者や指導者の仲間に支えられたお陰です。講座では何事も楽しくやることをモットーとしておりました。講座での失敗も温かくフォローしてくれた受講者や指導者の皆さんに感謝です。修了式での皆さんの笑顔が私の宝物になりました。これからも皆さんと繋がりながら、養成講座に取り組んでいきたいと思っています。

♡ 松浦さんは、養成講座郡山教室2代目の教室長です。 学びの中、戸惑い悩み、時に涙する私達を優しく厳しく見守って下さいました。 あの微笑みが懐かしいです〜。



【行ってみ・観てみ・感じてみ〜】

松崎 美奈子 (まつざき みなこ) さん

産業カウンセラー資格取得年：2019年



「彼女は死んだー僕は忘れない。」／「大切な仲間」と「居場所」を奪われた大学生の青年が、嘘と悪意にまみれながら復讐していく…そんなキャッチコピーにそそられ、娘のお供を買って出て観た映画が『青くて痛くて脆い』でした。

人に不用意に近づき過ぎないことを信条にしていた主人公の青年が出会ったのは、空気の読めない発言を連発し、周囲から浮いていて、けれど誰よりもまっすぐな彼女だった。「世界を変える」という大それた目標を掲げ、2人は秘密結社サークル

【モアイ】を結成し、慈善活動を始める。しかし、彼女は“この世界”から、いなくなってしまった…

これから始まる復讐劇を期待して観ていた私は、裏切られながらも、ラストには強烈なメッセージを受け取ることに…「人との関わりは傷つくこともある。でも、勇気を出したその経験が自分を変え、成長につながる。」皆さんなら、この映画からどんなメッセージを受け取りますか。

### 運営部長の ホットひと言

震災から10年、節目節目と言いますが、ひとりひとり異なる「その人なりの時の流れ」に寄り添い続けたい。「50回全国研究大会 IN 東北」が5月29日、30日 仙台にて開催されます。

こちらも節目。

仲間と共に、原点回帰を。



行事予定 - 研修を開くことが難しい状況 !!

それでも出来る事を考えてゆきます。( ^◇^ )

(あとかぎ) コロナ禍の下、多忙な中で執筆して下さった皆様、感謝の気持ちでいっぱいです。送って下さったエールは、きっと山を川を越えて届いてゆくと信じています。-編集担当: Y・N